

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸 (レールタイプ)専用枠材

ソフトアート

調整枠

[標準]片側ソフトクローズ [オプション]両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル

☎ 0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

TKF-SC/SN

THF-SC/SN

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

・調整用戸車・レール等は消耗性部品。

引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお薦めします。

・躯体接合金具の調整範囲は縦枠最大11mm上枠最大9mm。

調整可能範囲を越える場合は枠材がはずれる原因となり危険ですので、調整範囲を満たすように下地材などを入れてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

お願い

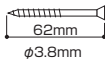
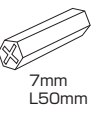
- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

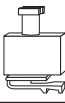
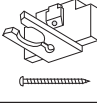
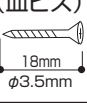
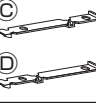
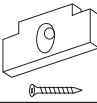
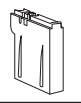
■ 梱包内訳表

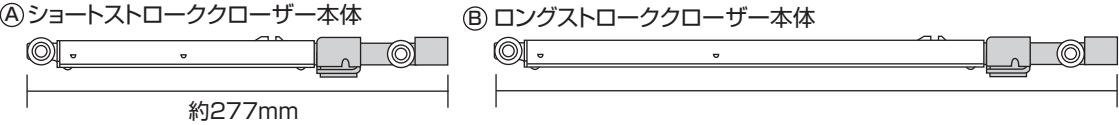
※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)
入 数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	—
	引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	1本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—

別梱包		敷居埋め込みの場合				床直付けレールの場合	
部材名		敷居		敷居		ケーシング セット	
入 数	片引き戸	本体1本	レール1本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス8本	縦用4本
	引き違い戸	本体1本	レール2本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス16本	横用2本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)							
部材名		セット品番	木ダボ	組み立て ビス	下枠 固定ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ クッション キャップ
			 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm
入 数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	8個
備 考 (部材品番等)		—	—	—	床直付けレール の場合は 使用しません。	枠と躯体の 固定に使用 出来ます。	—

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:片側ソフトクローズ】									
部材名			上部 ガイド	上部 キャッチャー (ビス1本セット)	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	トリガー 取り付け 治具
					 18mm φ3.5mm				
入 数	片引き戸	1324・1190	ZYSKS4	2個	1個	6本	①A	①C	1
		1824・1644・1450	ZYSKL4	2個	1個	6本	①B	①D	1
	引き違い戸	1824・1644	ZYSHL4	4個	—	12本	②B	②D	2
備 考 (部材品番等)			ZYNGO1	ZYNCO1	ZYTAO1	—	①C ZYTS12 ①D ZYTL12	ZYTNC01	ZYTG11



※両側ソフトクローズにしたい場合は追加で下記セットをご発注ください。

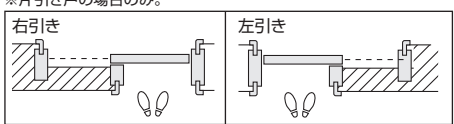
別売品【ソフトクローズ金具セット】							
部材名				クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	
		枠外	セット品番	必要セット数			
入 数	片引き戸	1450・1324・1190	ZYSRS1-7	×1	①A	①C	1
		1824・1644	ZYSRL1-7	×1	①B	①D	1
	引き違い戸	1824・1644	ZYSRL2-7	×2	①B	①D	—

両側ソフトクローズ
片引き戸 施工
11ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き違い戸 施工
18ページに進んでください。

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。



片引き戸 施工…5ページに進んでください。

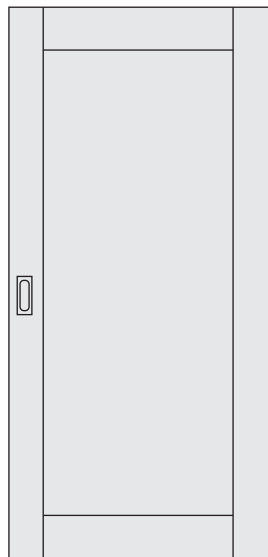
引き違い戸 施工…12ページに進んでください。

ソフトクローザー一覧表

■ドアのサイズによってソフトクローザー金具のサイズが異なります。ご注意ください。

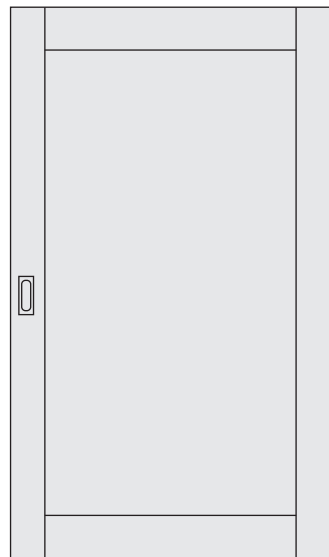
①ドアサイズ580～712の場合

スライダー Short+Short



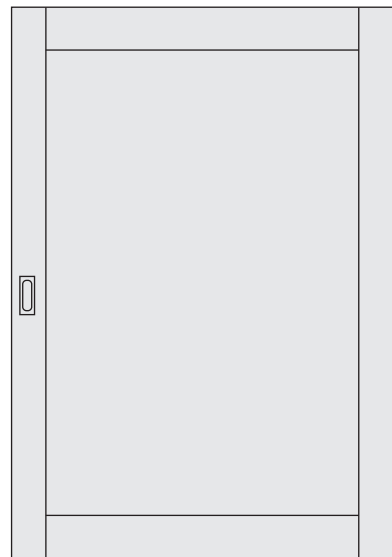
②ドアサイズ713～809の場合

スライダー Long+Short



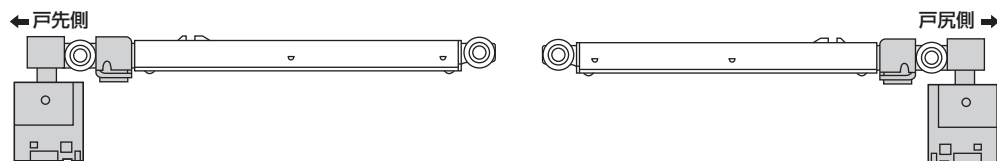
③ドアサイズ810～900の場合

スライダー Long+Long

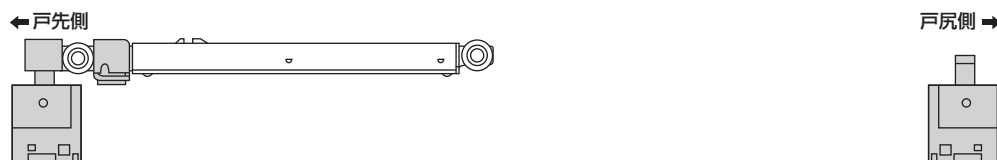


■クローザー本体の挿入向きをご確認ください。(下記図は下荷重の場合)

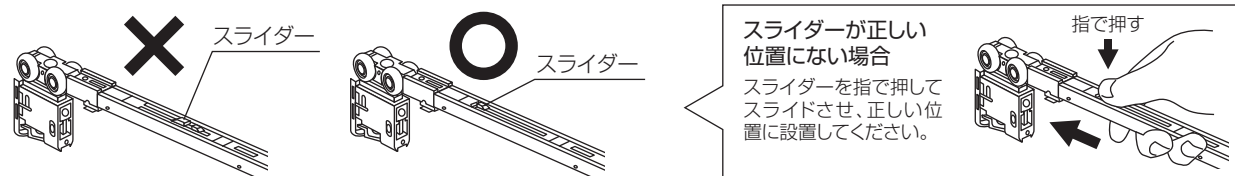
両側ソフトクローズの場合



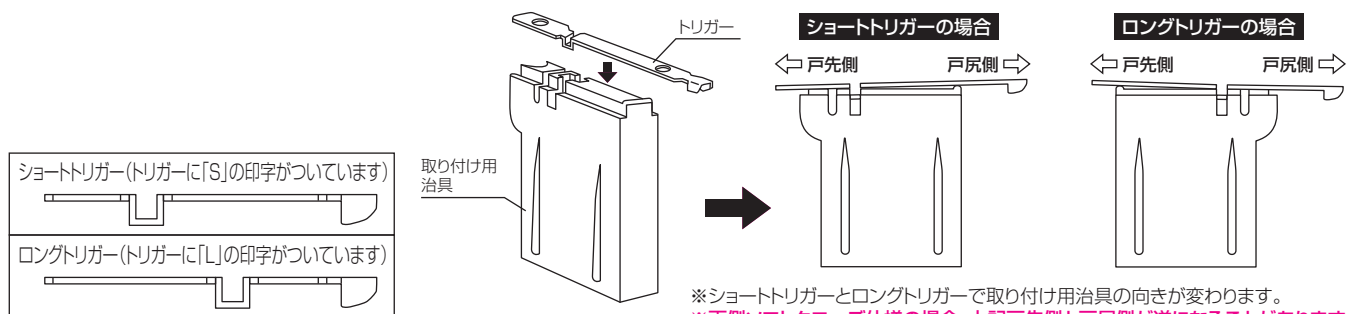
片側ソフトクローズの場合



■挿入前にスライダーの位置を確認してください。(下記図は上吊りの場合)



■トリガーの取り付け向きに注意してください。(トリガーはロング用とショート用の2種類あります)

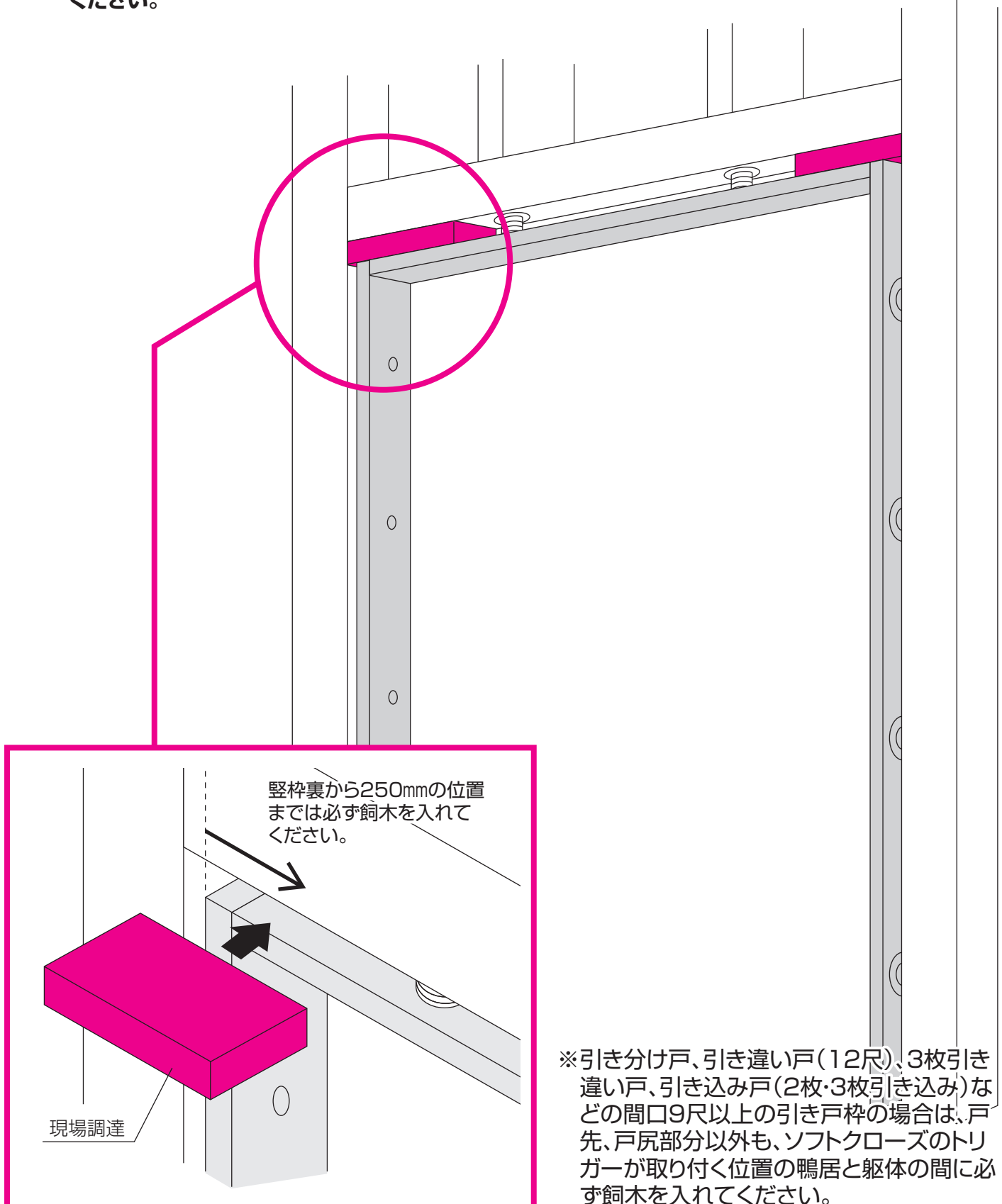


※ショートトリガーとロングトリガーで取り付け用治具の向きが変わります。
※両側ソフトクローズ仕様の場合、上記戸先側と戸尻側が逆になることがあります。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。



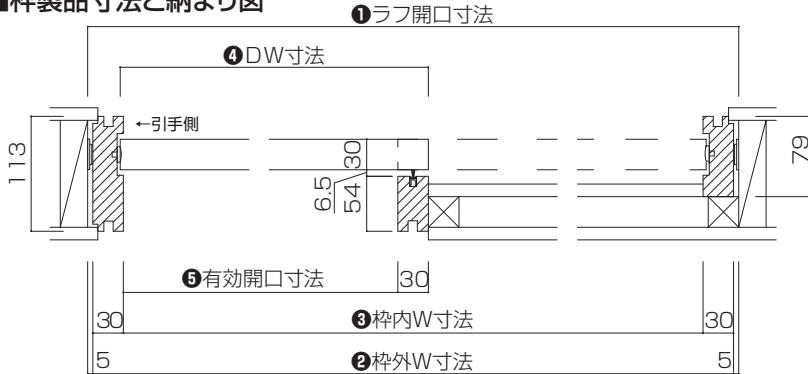
【片引き戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

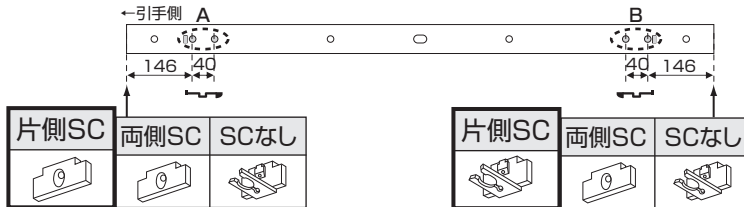
■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
① ラフ開口寸法	1,834	1,654	1,460	1,334	1,200
② 枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
③ 枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,264	1,130
④ DW寸法	900	810	713	650	583
⑤ 有効開口寸法	867	777	680	617	550

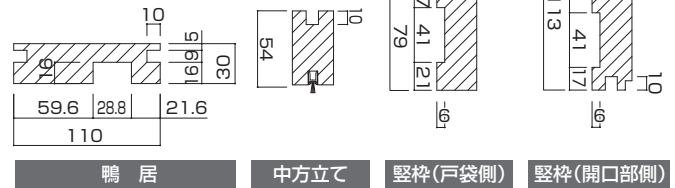
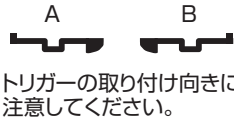
■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B

POINT

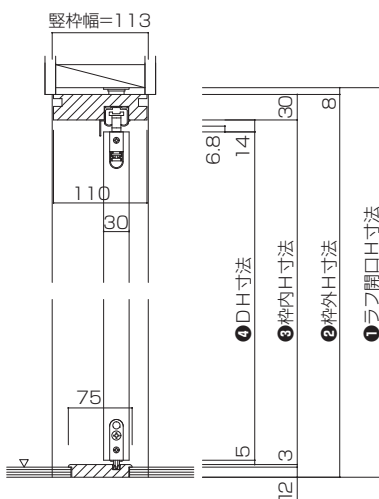


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

敷居埋め込みの場合

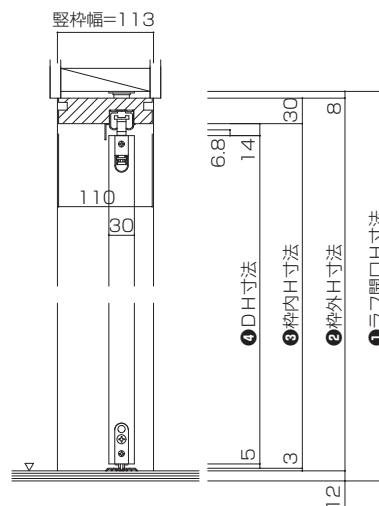
(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
① ラフ開口寸法	2,055	2,255
② 枠外H寸法	2,047	2,247
③ 枠内H寸法	2,002	2,202
④ DH寸法	1,983	2,183

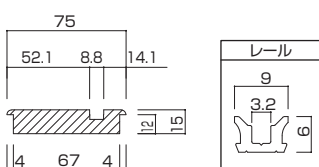
床直付けレールの場合

(単位:mm)

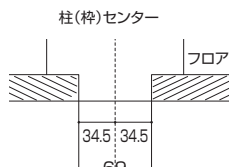


製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
① ラフ開口寸法	2,055	2,255
② 枠外H寸法	2,035	2,235
③ 枠内H寸法	2,002	2,202
④ DH寸法	1,983	2,183

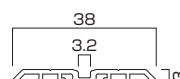
敷居詳細図



フロア張り込み位置



床直付けレール図

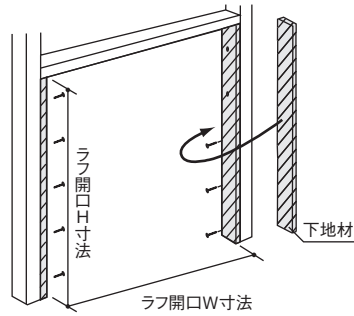


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

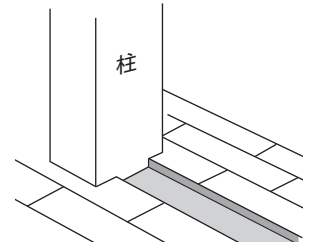
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



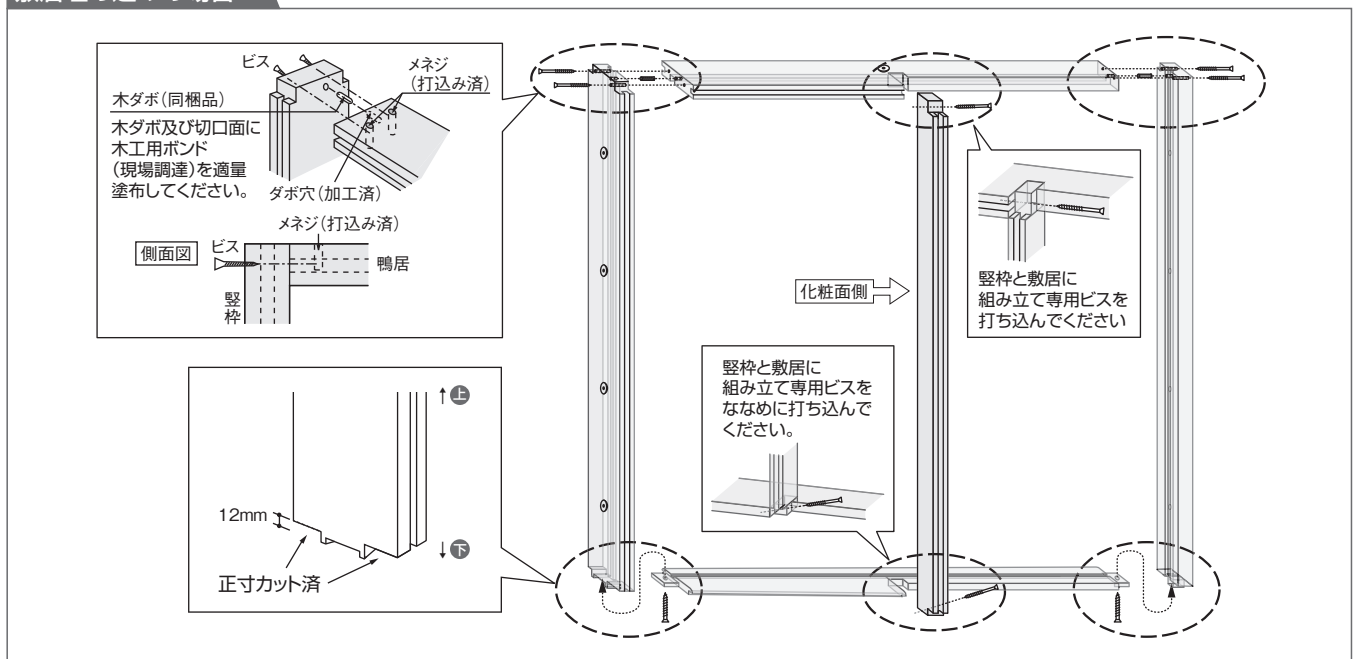
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

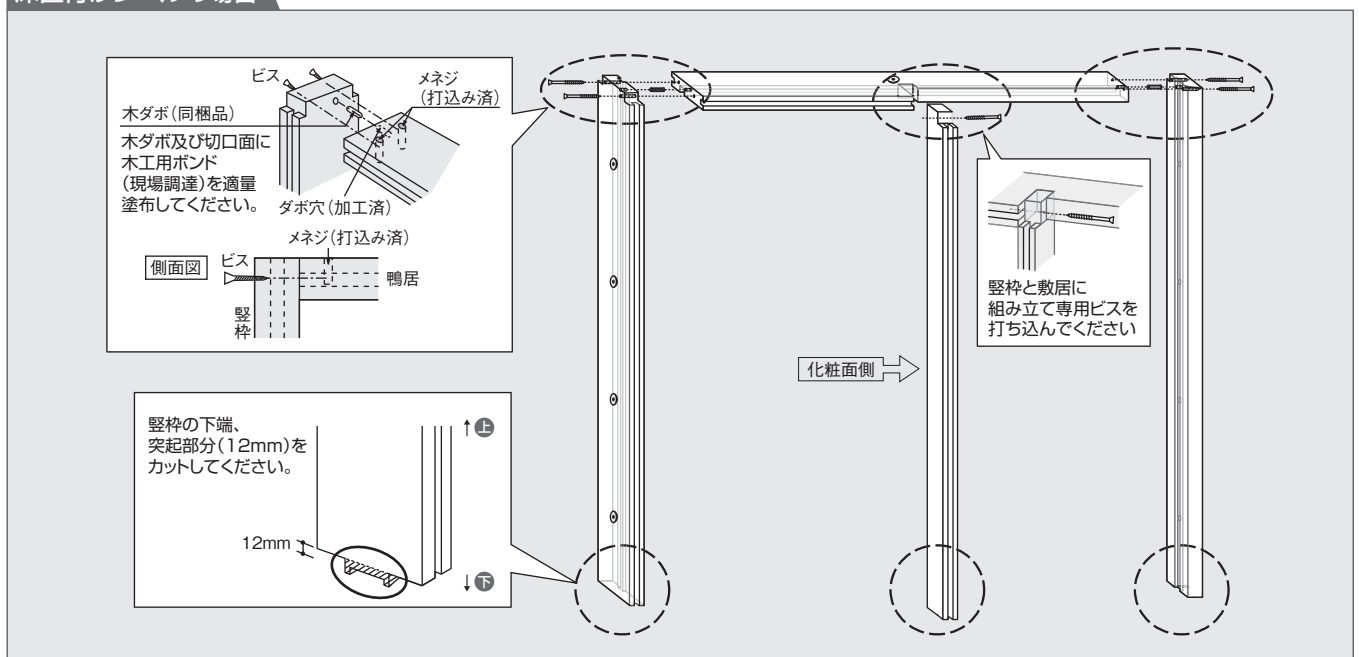
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合

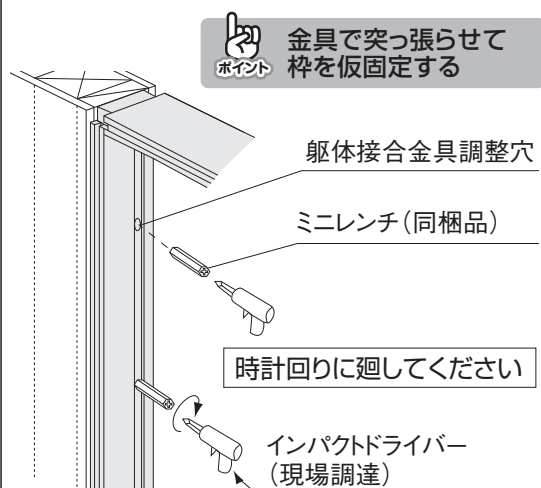


4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

■ 4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

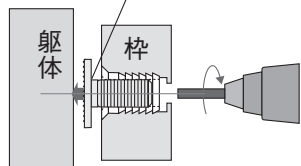
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んで

金具は枠に装着済み

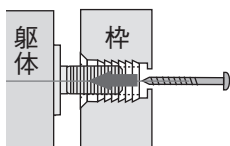


⚠ 注意

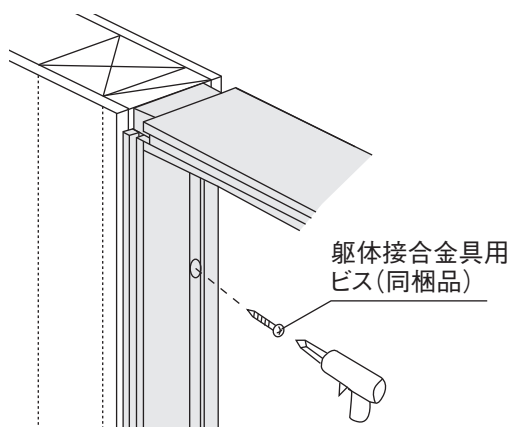
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



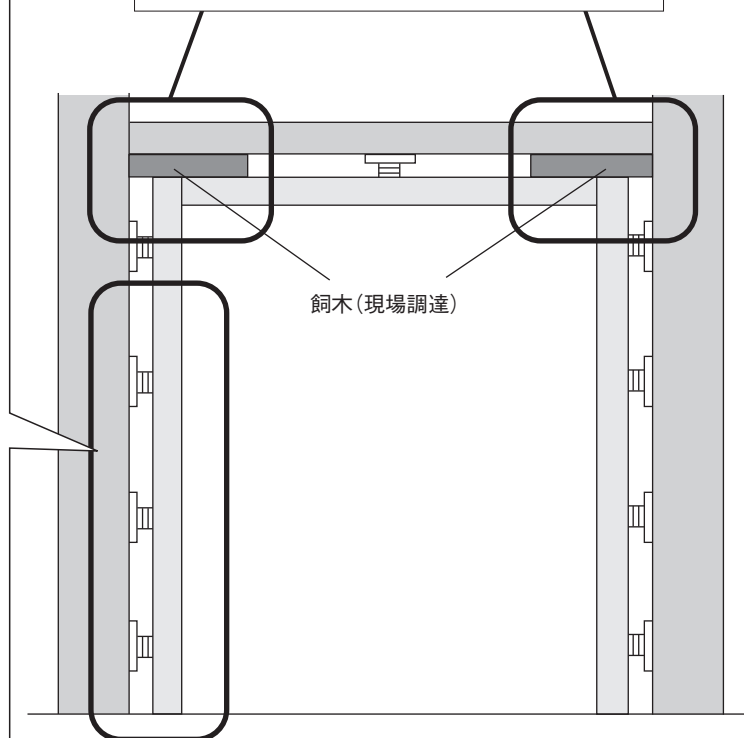
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

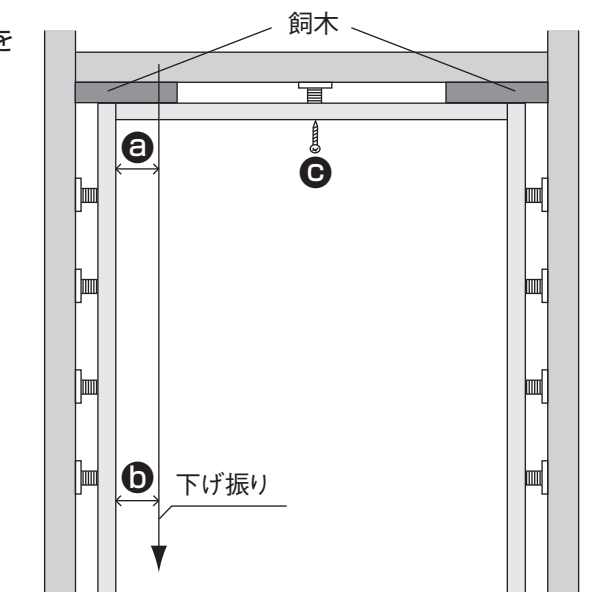
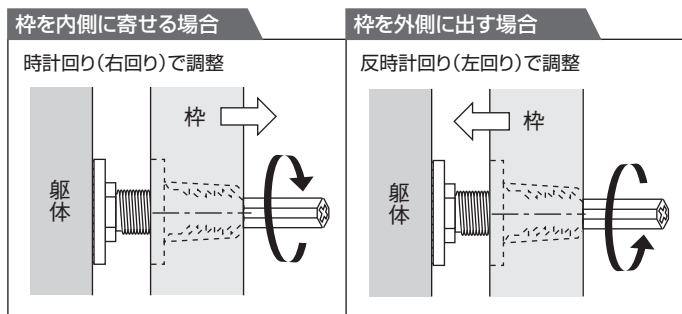


飼木(現場調達)

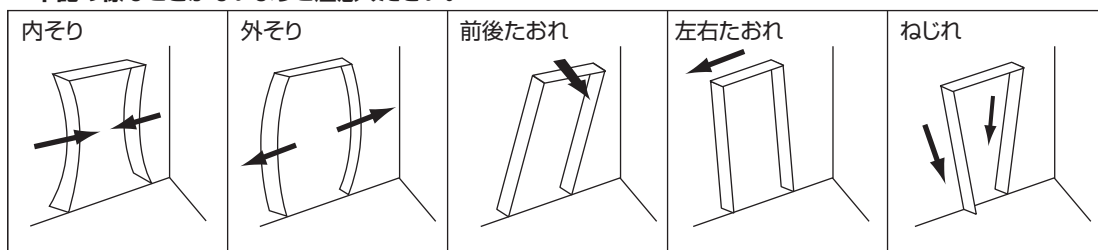
5 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 竖杵を固定後、水準器などを使用し、竖杵、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竖杵と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

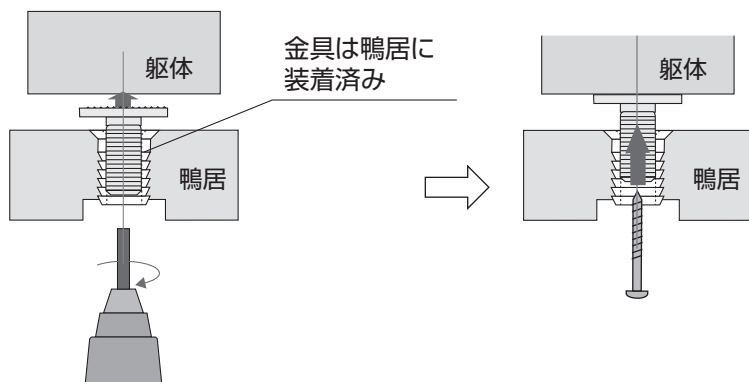


※下記の様なことがないようにご注意ください。

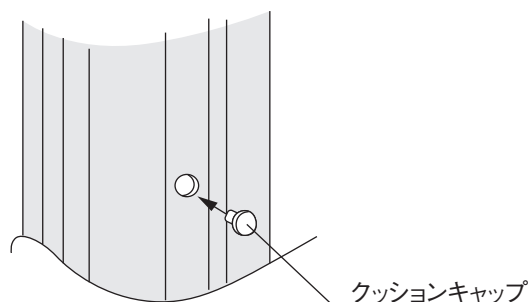


- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

竖杵と同様の手順で鴨居を固定します。



- ③ 竖杵を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

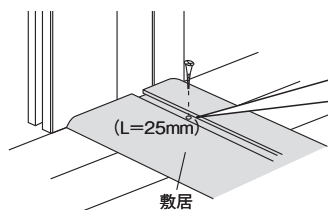


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

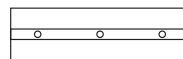
① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス頭が残らないように
締め込む

敷居



ビス3ヶ所どめ

確認

敷居を固定するビスは、
ビス頭が残らないように
確実に締め込んで、
木くず・ゴミなどを除去し、
平滑にしてください。

注意

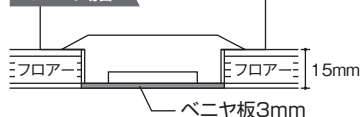
敷居はバリアフリー(埋め込み
施工)となります。

フローアの厚みは12mmを基準にしています。
15mmフローアなど12mm以上の厚みの
フローアを使用の場合は、ベニヤ板などで
高さの調整をおこなってください。

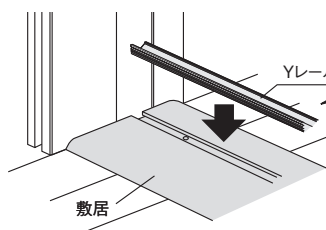
12mmの場合



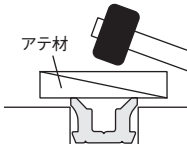
15mmの場合



② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には
必ずアテ材などを使用して、
ゴムハンマーでたたき込ん
でください。

※レールが完全に敷居に入っ
ていることを確認してください。



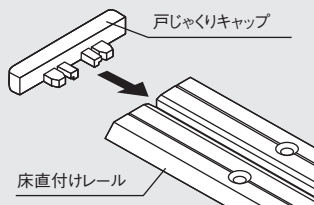
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの
端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

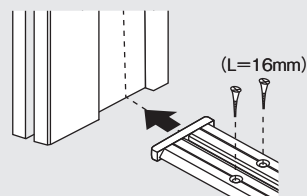


② 床直付けレール取り付け位置の確認

縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように
位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴から
レールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定
されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた
状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意
してください。

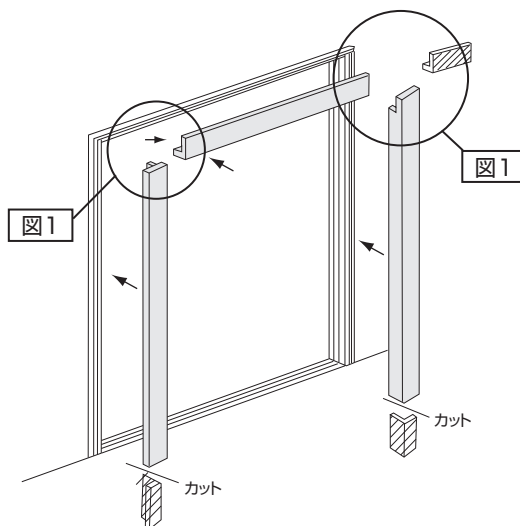
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施工主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

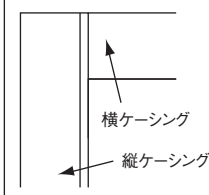
7 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整
しカットしてください。寸法を調
整したケーシングを木工用ボ
ンド(現場調達)を使用し、取り付
けてください。



堅勝ち納まり

図1

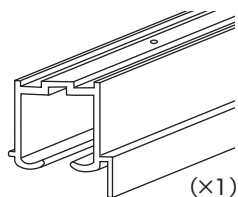


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

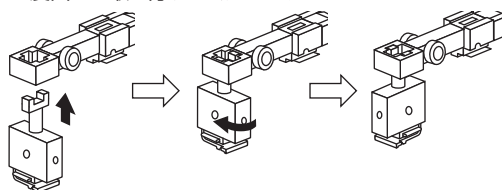
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

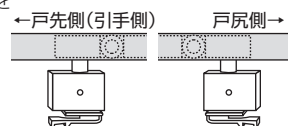
上部ガイドをクローザー本体先端の溝にはめ込み左右に90度回して取り付けてください。



⚠ 注意

レール挿入後に上部ガイドの向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。

※切れ込みの先端が
取先側(引手側)・
戸尻側に向くように
取り付けてください。

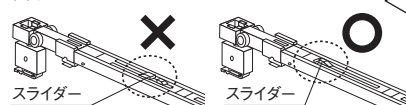


■クローザー本体の挿入

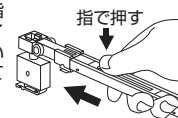
鴨居レールにクローザー本体を挿入してください。クローザー本体はソフトクローズ機構の仕様により挿入向きが異なります。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



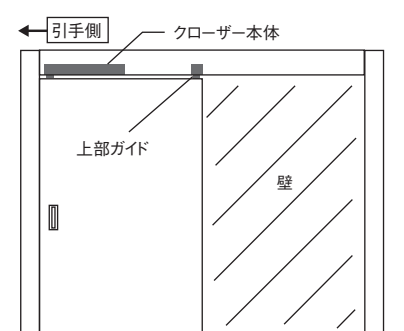
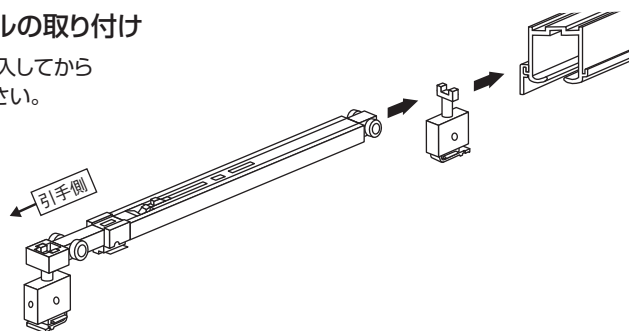
スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

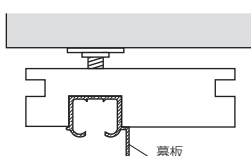
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

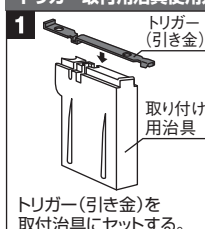


②鴨居レールの取り付け

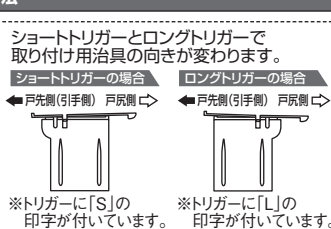
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



トリガー取付用治具使用方法

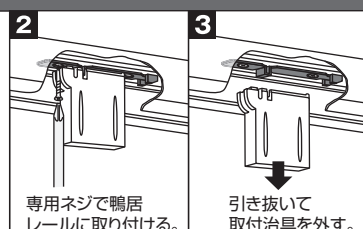


トリガー(引き金)を取付治具にセットする。



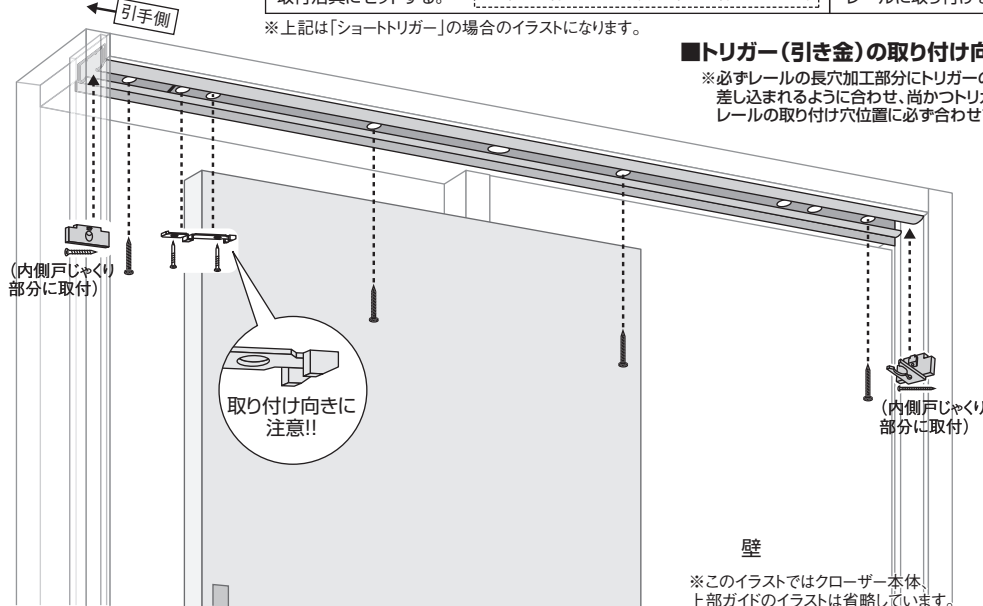
※トリガーに「S」の印字が付いています。 ※トリガーに「L」の印字が付いています。

※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

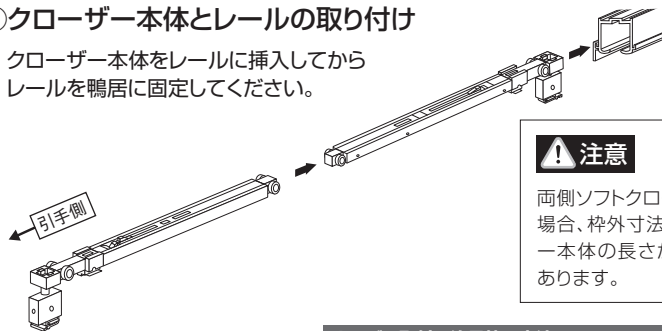


取り付け向きに注意!!

※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

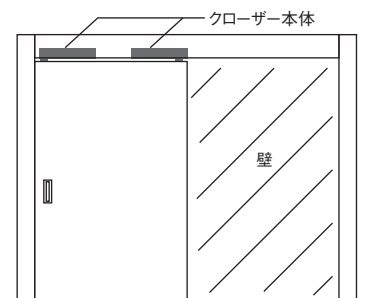
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



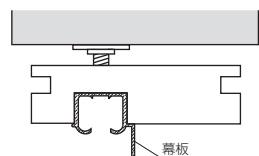
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの
場合、枠外寸法によりクローザー
本体の長さ異なる場合が
あります。

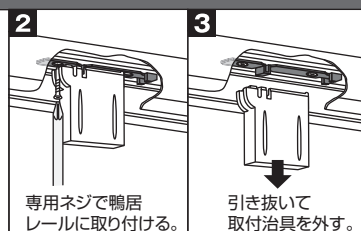
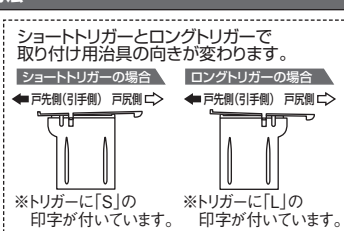


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて
取り付けてください。



トリガー取付用治具使用方法

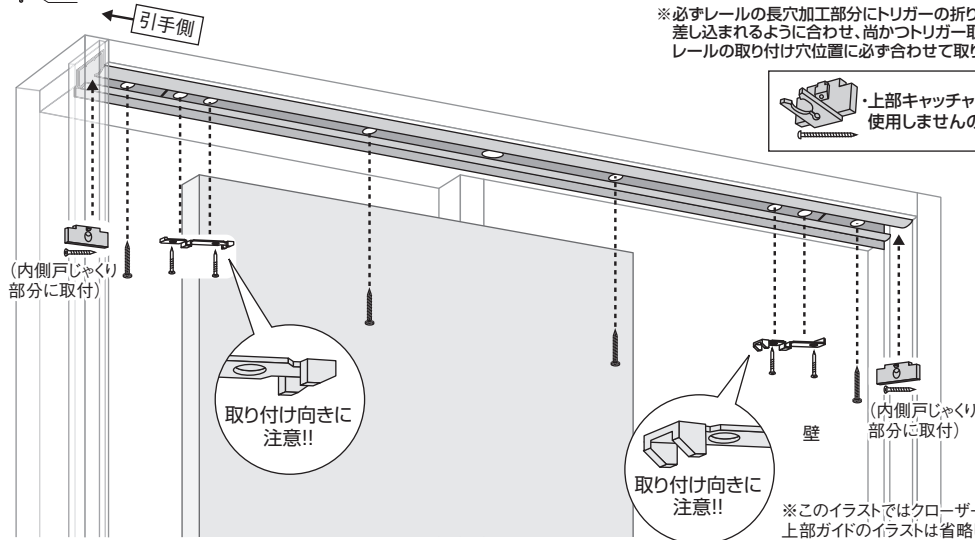


※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が
差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所を
レールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けください。

・上部キャッチャー(ビス1本セット)は
使用しませんので残ります。

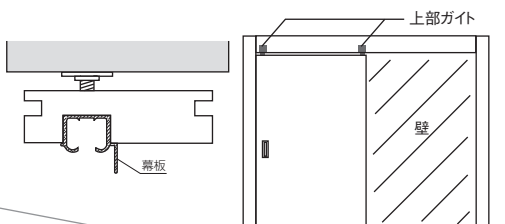


※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています。

ソフトクローズなし オプション

①鴨居レールの取り付け

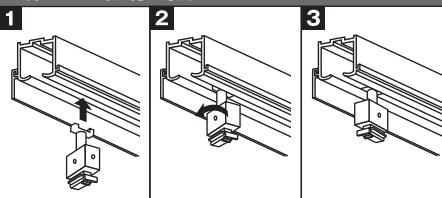
レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて取り付け
てください。



⚠ 注意

上部ガイドは扉を吊り込むまで無くさないよう大切に
保管、または確実に鴨居レールに取り付けておいてく
ださい。

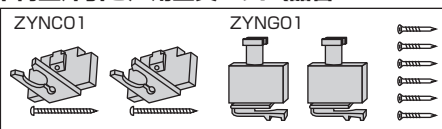
上部ガイドの取り付け方法



上部ガイドを鴨居のレールの溝にはめこみ
左右に90度回して取り付けてください。

<同梱品>

下荷重片引き戸用金具セット(品番:ZYSK04)



※このイラストでは
上部ガイドのイラストは省略しています。

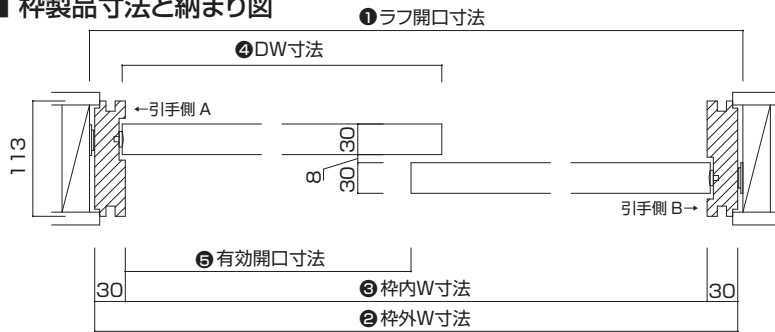
【引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

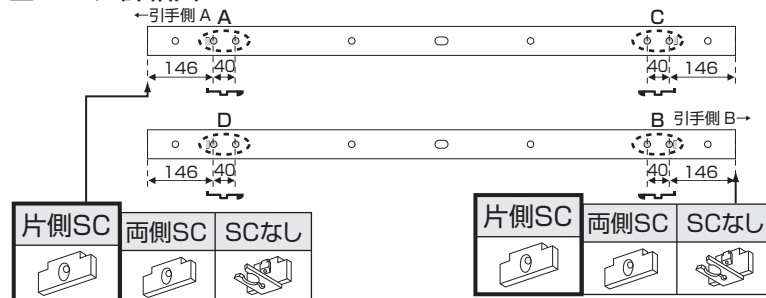
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



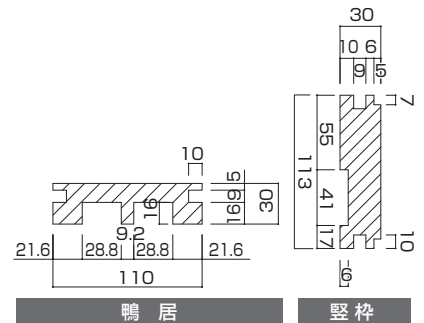
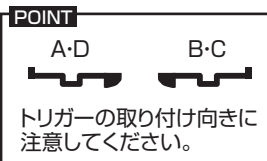
製品寸法	1,824	1,644
①ラフ開口寸法	1,834	1,654
②枠外W寸法	1,824	1,644
③枠内W寸法	1,764	1,584
④DW寸法	900	810
⑤有効開口寸法	867	777

■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

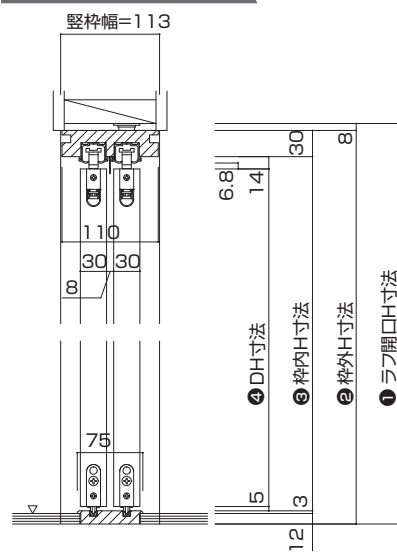


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

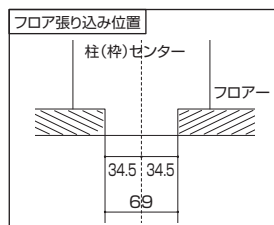
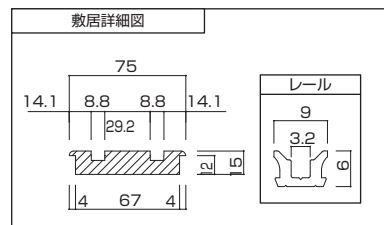
縦断面図

敷居埋め込みの場合

(単位:mm)

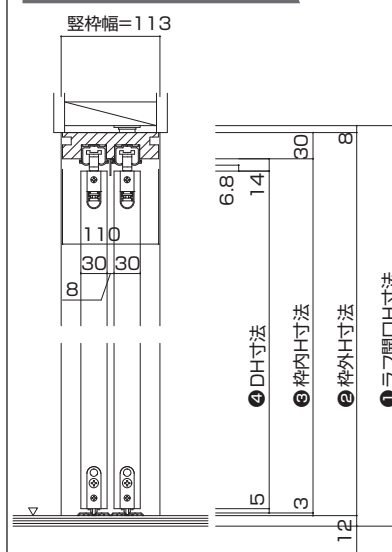


製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
①ラフ開口寸法	2,055	2,255
②枠外H寸法	2,047	2,247
③枠内H寸法	2,002	2,202
④DH寸法	1,983	2,255

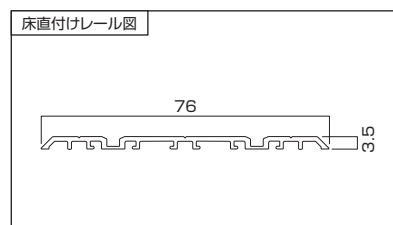


床直付けレールの場合

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH 1,983	ハイドア DH 2,183
①ラフ開口寸法	2,055	2,255
②枠外H寸法	2,035	2,235
③枠内H寸法	2,002	2,202
④DH寸法	1,983	2,183

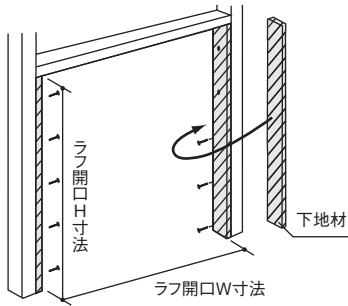


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

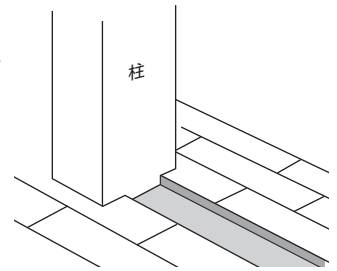
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合ったラフ開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。



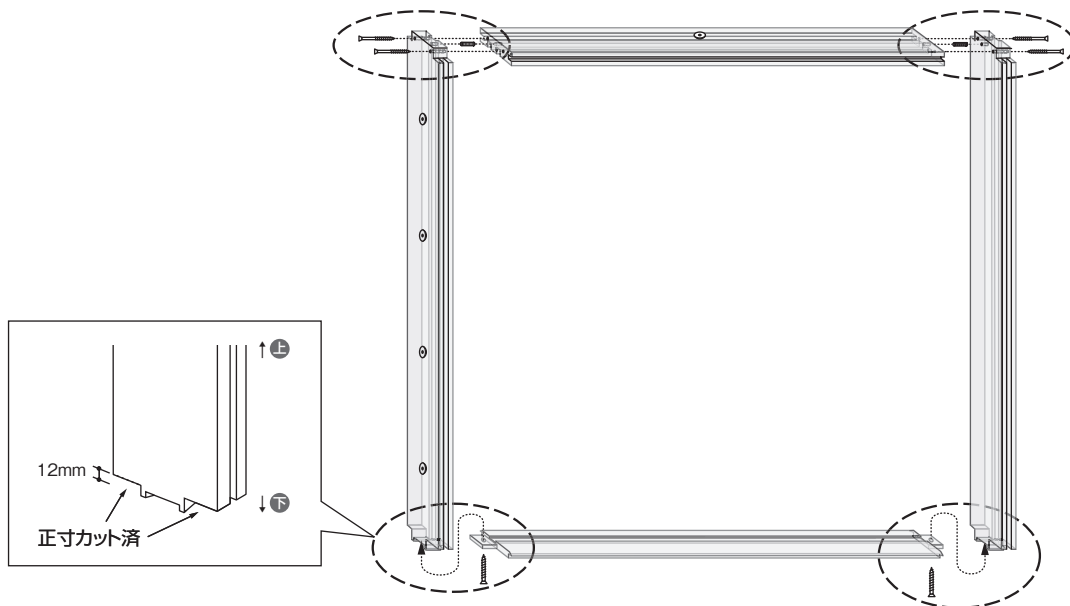
3 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

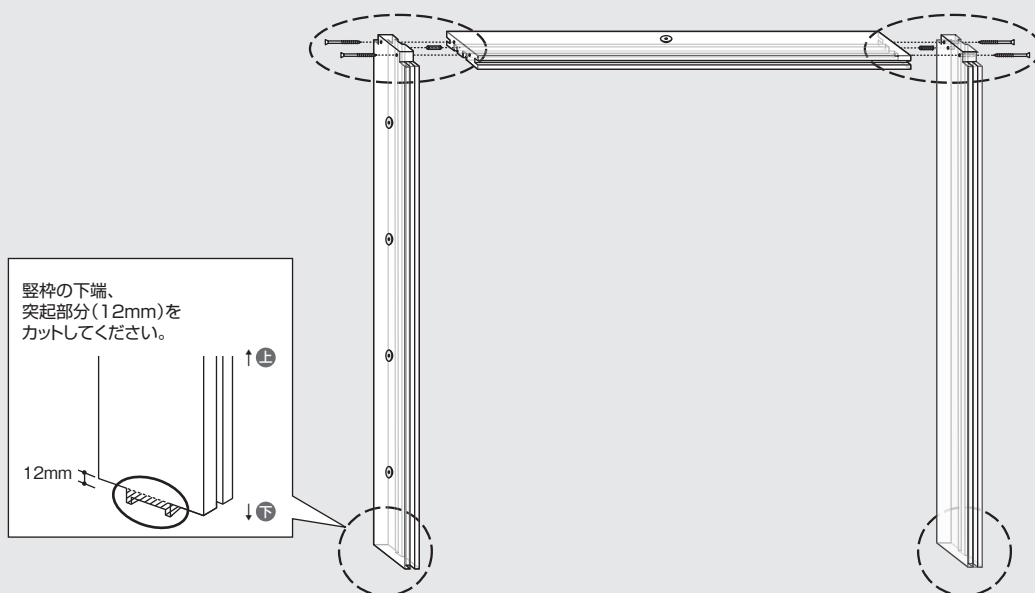
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

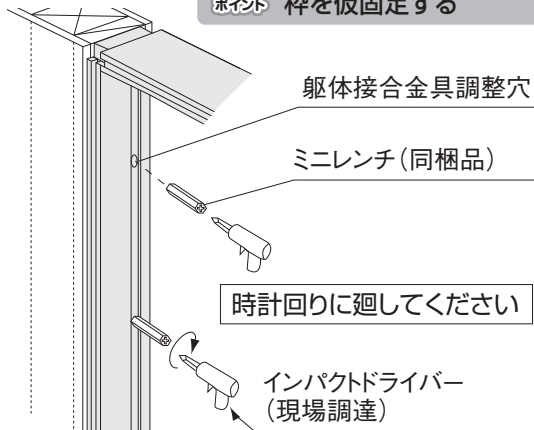
■4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



金具で突っ張らせて
枠を仮固定する

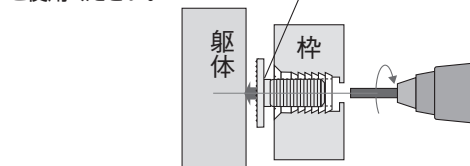


時計回りに廻してください

インパクトドライバー
(現場調達)

同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んで

金具は枠に装着済み

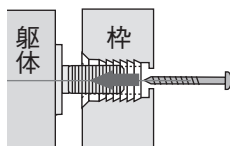


⚠ 注意

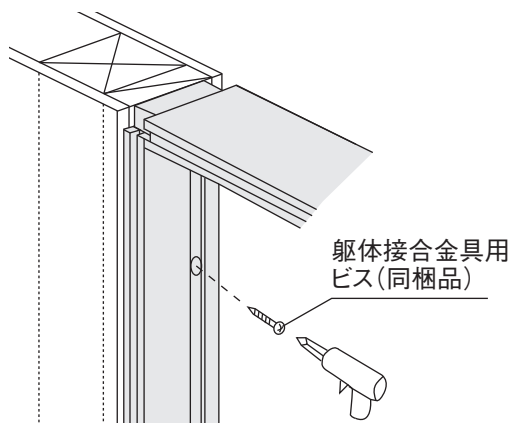
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで
躯体に固定させます。

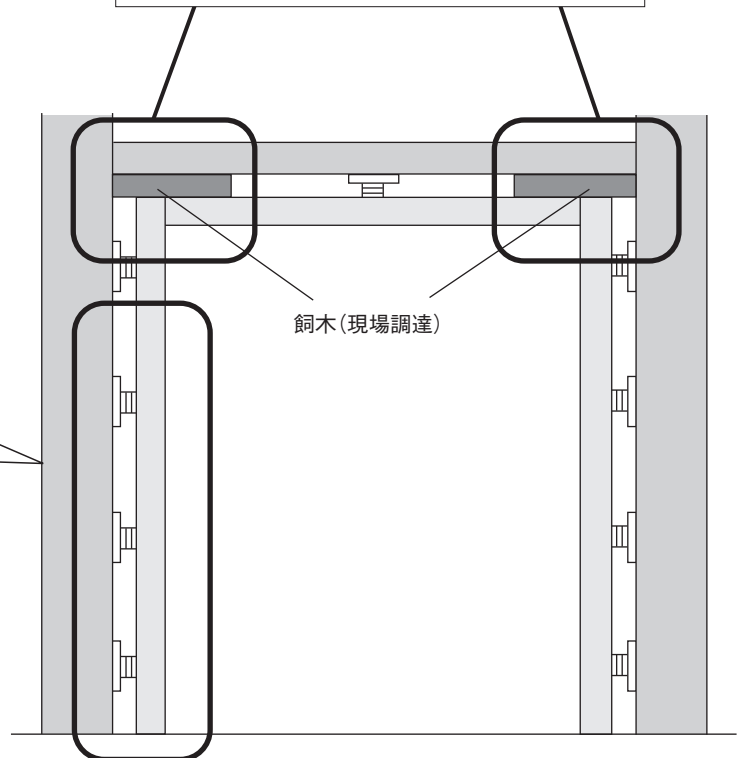


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。
(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

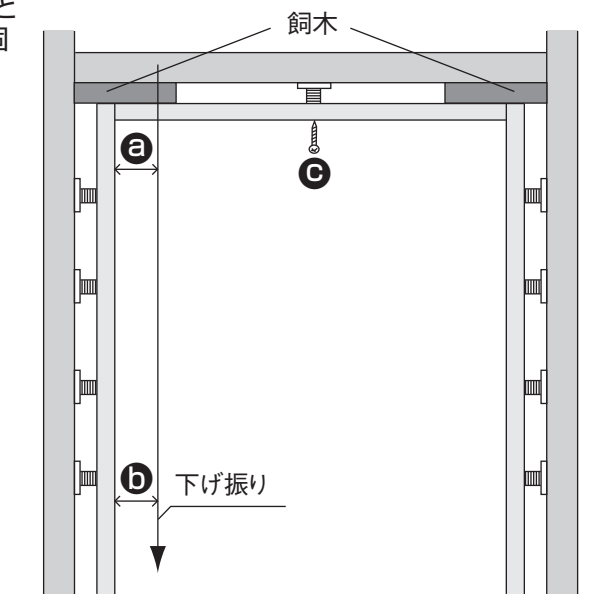
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



5 建て付け調整と鴨居の本固定

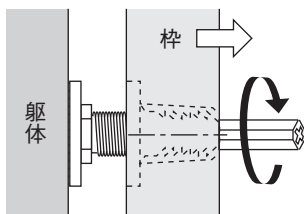
■ 竪枠を固定後、水準器などを使用し、竪枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竪枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



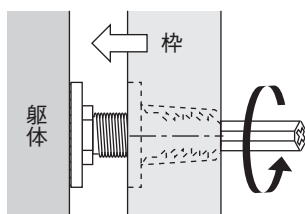
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

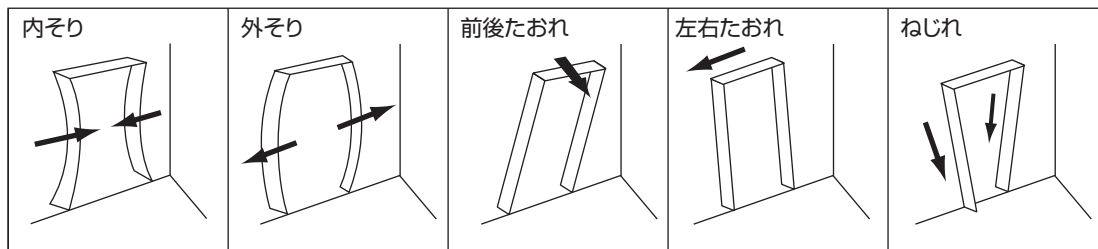


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

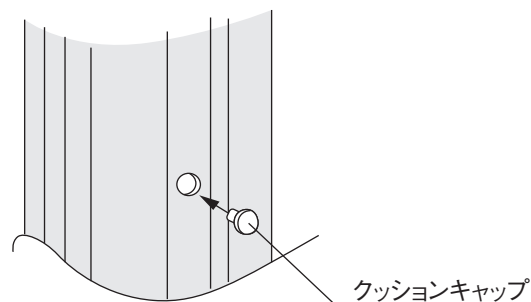
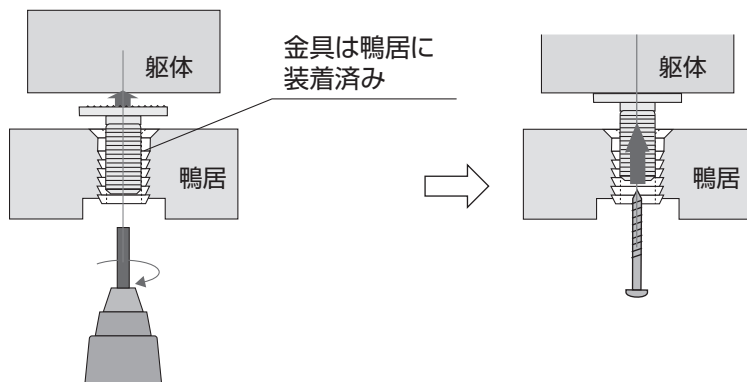


※下記の様なことがないようにご注意ください。



- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
竪枠と同様の手順で鴨居を固定します。

- ③ 竪枠を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。

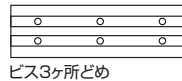
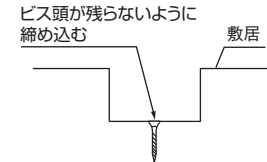
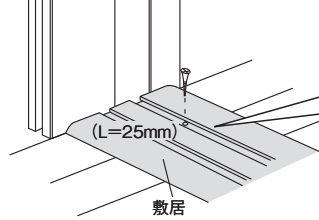


6 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

① 敷居と下地の固定

敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。



ビス3ヶ所どめ

⚠ 注意

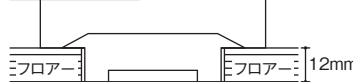
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

確認

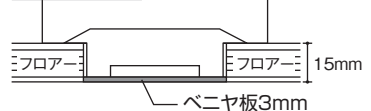
敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフロアなど12mm以上の厚みのフロアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

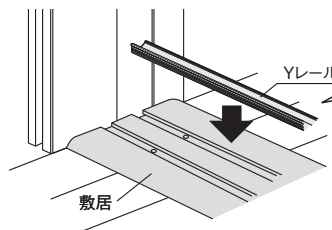
12mmの場合



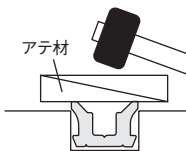
15mmの場合



② レールの取り付け



Yレール取り付け時の注意



Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。



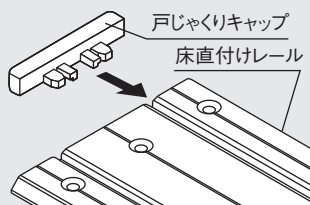
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

① 戸じゃくりキャップの取り付け

戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

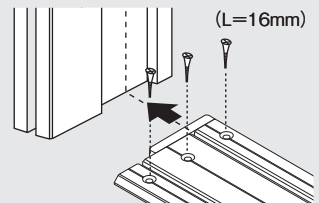


② 床直付けレール取り付け位置の確認

戸じゃくりキャップ部分が、竖枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。

同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。2本目以降の床直付けレールはレールとレールの間にすき間が出来ないように並べて取付けてください。

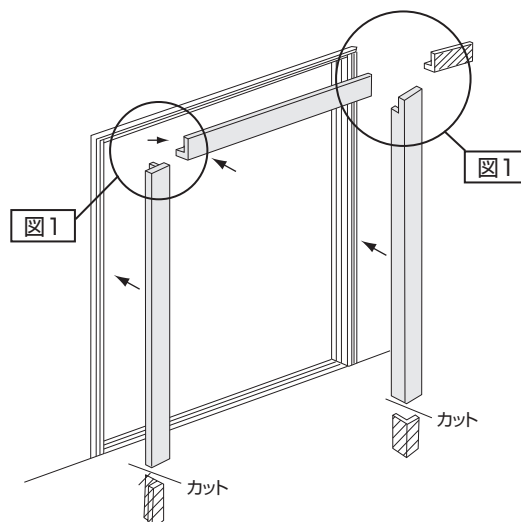
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。



※レールのキズ防止のため、施主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

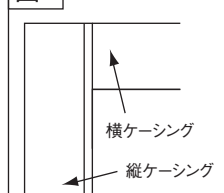
7 ケーシングの取り付け

■ ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



堅勝ち納まり

図1

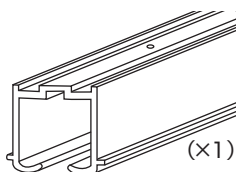
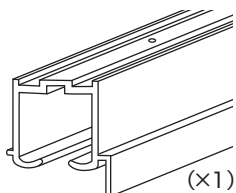


8 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

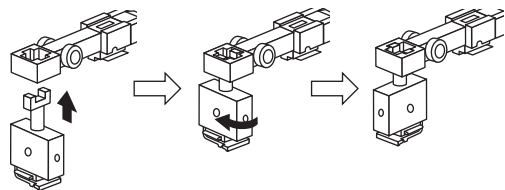
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

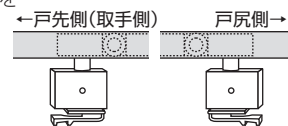
上部ガイドをクローザー本体先端の溝にはめ込み左右に90度回して取り付けてください。



⚠ 注意

レール挿入後に上部ガイドの向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。

※切れ込みの先端が
取手側(引手側)・
戸尻側に向くように
取り付けてください。

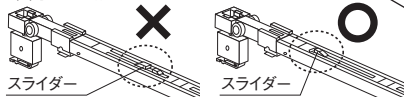


■クローザー本体の挿入

鴨居レールにクローザー本体を挿入してください。スライダーはソフトクローズ機構の仕様により挿入向きが異なります。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

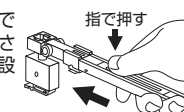
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合

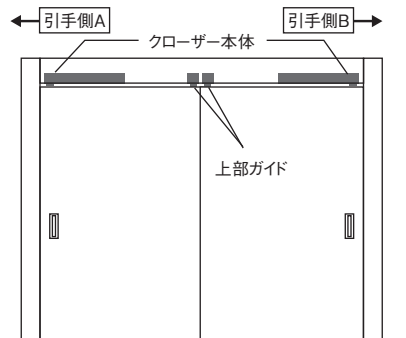
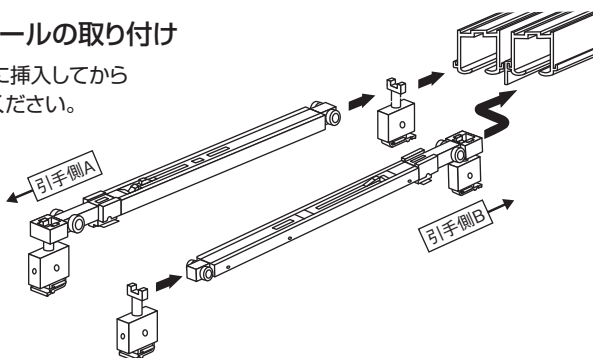
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

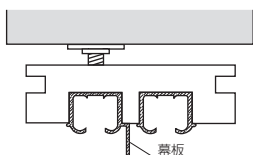
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

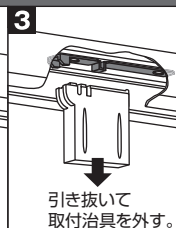
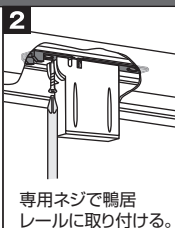
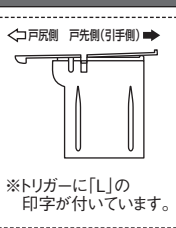


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。

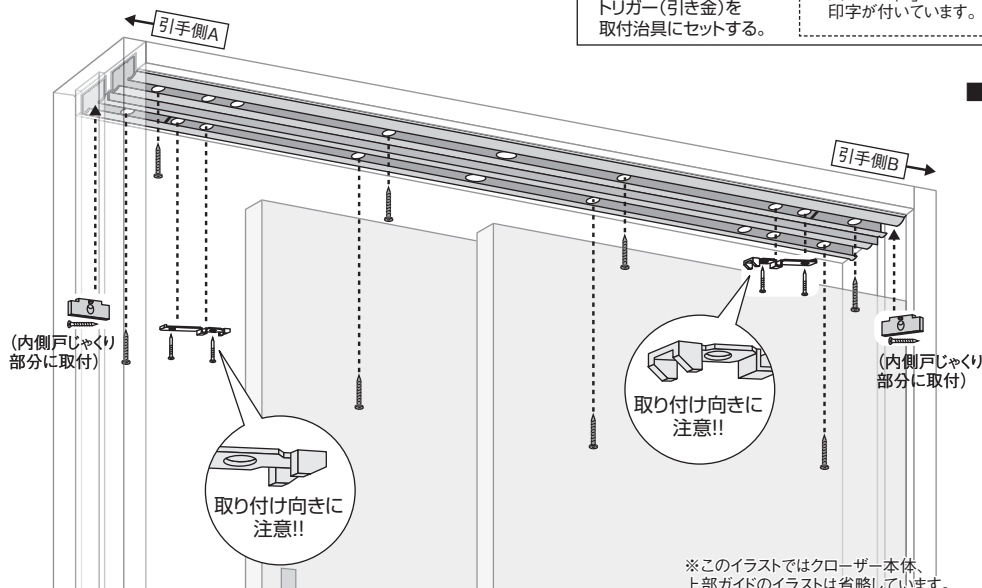


トリガー取付用治具使用方法



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

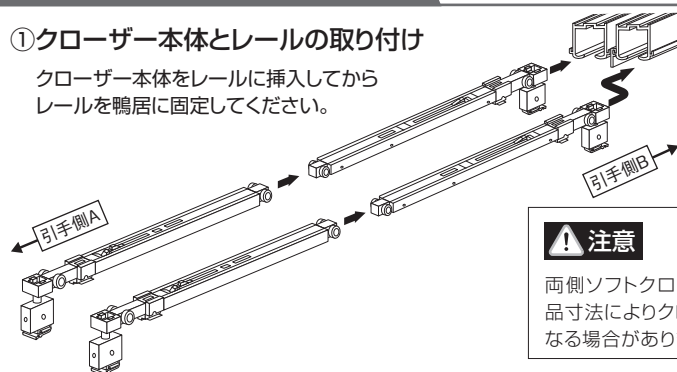
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

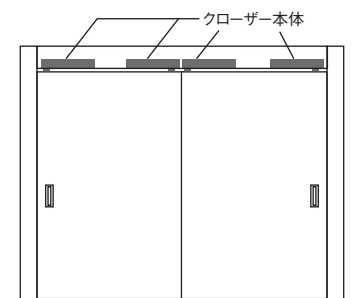
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



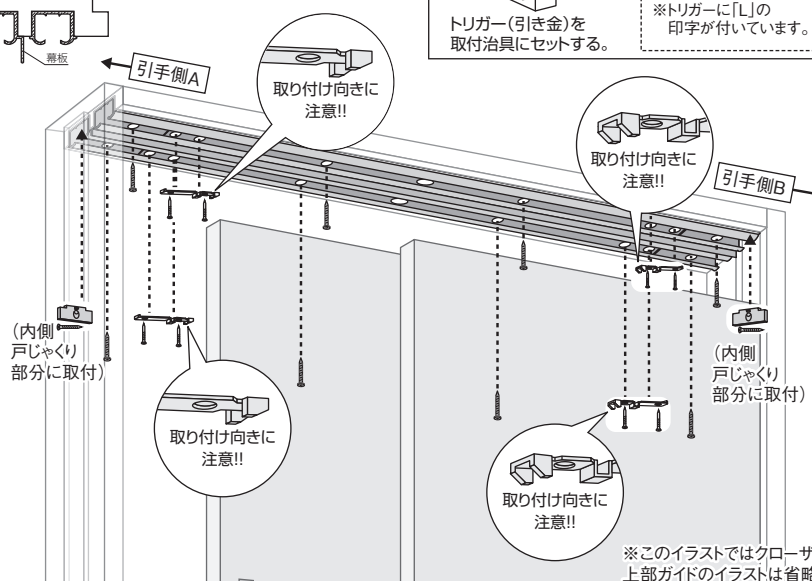
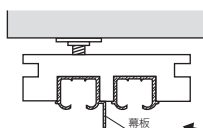
注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。

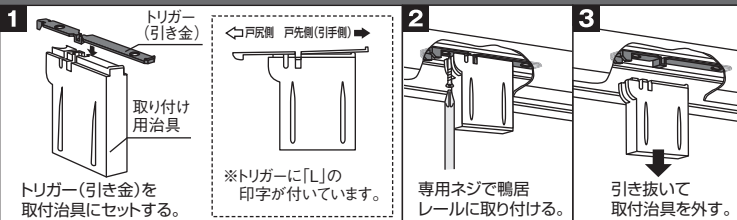


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



トリガー取付用治具使用方法



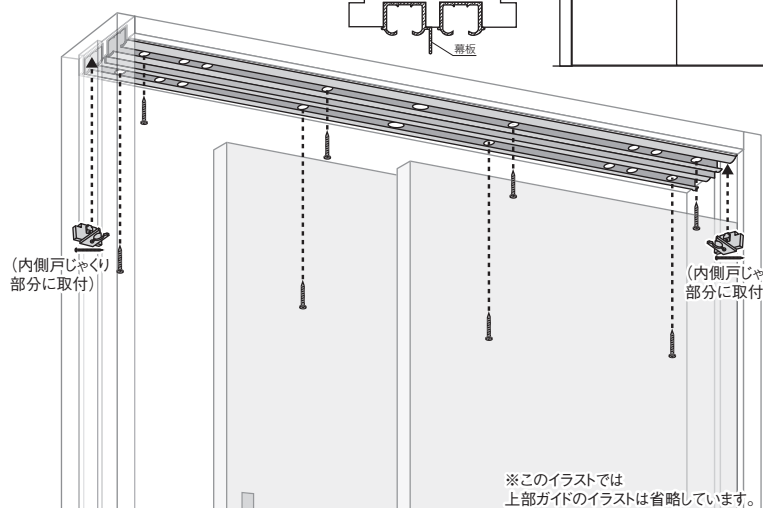
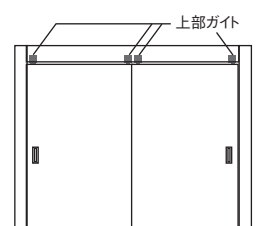
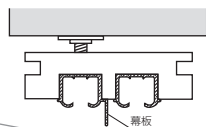
■トリガー (引き金) の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴が所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

ソフトクローズなし オプション

①鴨居レールの取り付け

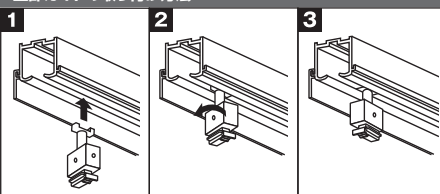
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



注意

上部ガイドは扉を吊り込むまで無くさないよう大切に保管、または確実に鴨居レールに取り付けておいてください。

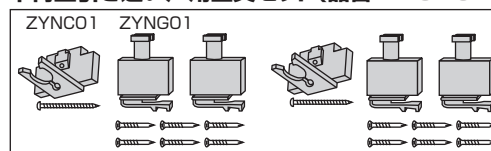
上部ガイドの取り付け方法



上部ガイドを鴨居のレールの溝にはめこみ
左右に90度回して取り付けてください。

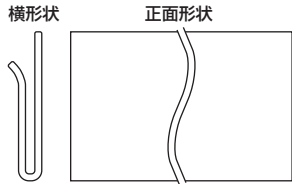
<同梱品>

下荷重引き違い戸用金具セット (品番:ZYSH04)



※このイラストでは
上部ガイドのイラストは省略しています。

オプション 幕板カバー

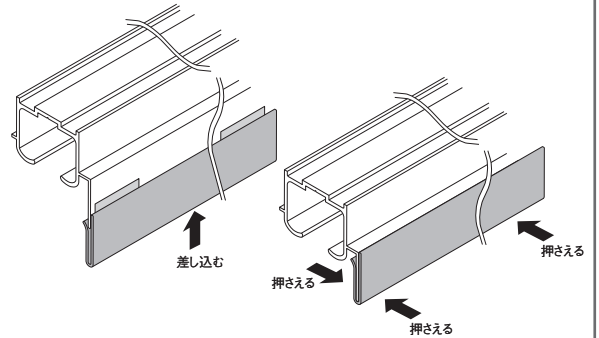
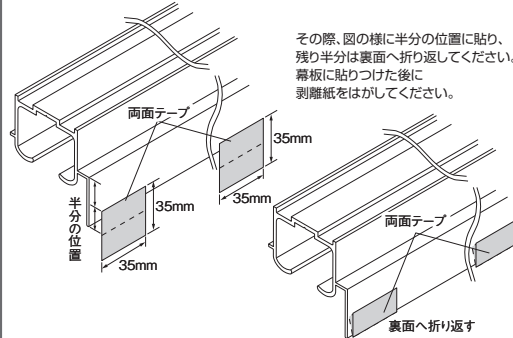


品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZHFM18-□	ZHFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて
両面テープにしっかり固定してください。



施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

